



看取られたご家族に

当院では、亡くなられた患者さんやご遺族のごとが話題に上がることがあります。特に、持てる力を全て出し、懸命に患者さんを介護された方などは大変気になります。

例えば、ご夫婦仲が大変良く、ご家族からも愛されていたある方。緩和医



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所 まつばら
ホームクリニック 院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症サポート医

場合、精一杯の介護をしたご家族の喪失感、心理的負担は大変なものとな

ります。ご家族のご様子からご家族は喪失感を抱

療の後半は日に何度も医師、看護師が訪れ、ご自宅を人伝に聞くことが多いので、お看取りしました。多く、私自身は「何か当院で、必死に今後の家族のた、ある方は、痰詰まりにで出来ることはないか」あり方を見つけてよとさよる肺炎を繰り返す、幾と常に胸の中にわたかまれていることです。

度となく抗生剤などの点滴がありました。

ご家族は、初めは慣れないながらも頑張り、やがては上手に痰が引けるようになっては……。最期の最期まで懸命に尽くし、ご自宅

で看取りました。このようなお看取りの場、一杯の介護をしたことへの満足感や、その時のご家族の覚悟、どこにやることもできない心理的負担などをお話

きります。介護に深く関わったことへの満足感や、その時のご家族の覚悟、どこにやることもできない心理的負担などをお話

した。だいたいの話、その対話の中で感じたのは、いわば「魂の底」ともいえるような深いところ

☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
■定休日：土日(祝日は診療)
■訪問地域：西東京市、東久留米、新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック 検索

※2018年4月、名称が「医療法人社団 環境学会 まつばらホームクリニック」に変わりました

↑診療相談はこちらから